

こどもの城 ニュース

1996・3・15 NO.65 発行/(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5666
〒150 東京都渋谷区神宮前5-53-1

春休み特別期間

3月23日(土)～4月7日(日)

開館時間/10:00～17:30
(入館は17:00まで)

※4月8日月～10日水は休館させていただきます。

- オープスタジオ「造形動物園」(3/19～4/7)
- 君こそ/あそびの鉄人(3/23～27、4/6～7)
- 春休み人形劇フェア(3/29～31)
- ストリートオルガン・タイム(3/27～4/7)
- いよいよシーズン 野球だ サッカーだ/(3/23～4/7)
- コンピュータでミュージック(3/23～4/7)ほか楽しい催しがいっぱい。



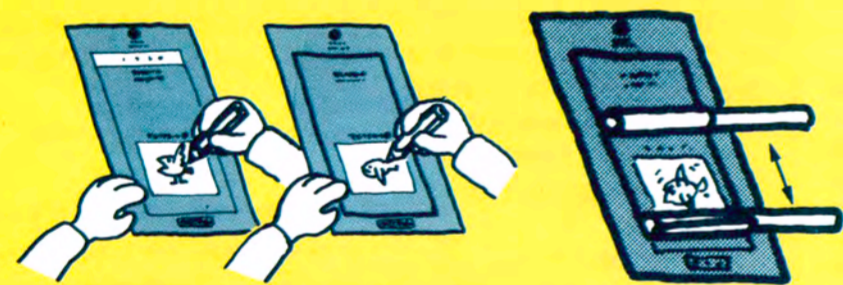
アニメおもちゃであそぼう

映画が生まれて100年がたちました。スクリーンの中で、なぜ人や物が動いて見えるのでしょうか。考えてみるととても不思議なことです。人間は、映画が発明される前から、本物と同じように“動く絵”を作り出そうとしてきました。それが「視覚玩具」と呼ばれる(絵を動かして見るおもちゃ=アニメおもちゃ)です。そこには“絵が動いて見える秘密”がたくさんかくされています。今月は(こどもの城)の(アニメおもちゃ)を紹介し、春休み期間中の3月23日～26日には、音楽ロビーで「アニメおもちゃであそぼう」が行われます。



ソーマトロープ

すばやく回転させると、表と裏に描いた絵が重なって見える不思議な円板「ソーマトロープ」。表の鳥かごと裏の小鳥の絵が重なると、鳥かごの中に小鳥がいる絵に見えます。表の絵が目の中から消えないうちに、裏の絵を見ることで、絵が一つになって見える“残像”によるものといわれています。厚紙と輪ゴム、筆記用具があれば簡単に作ることができます。



マジックロール(くるくるアニメ)

羽を上げた絵と羽を下げた絵というように、動かしたい部分(この場合は羽)だけ変えた2枚の絵を描きます。この2枚の絵をすばやく交互に見てみると、羽を上げ下げする動く絵を見ることができます。「マジックロール」は、上の紙をペンの軸などに巻き付けてカールさせ、ペンを動かすことによって、絵をめくりやすくなりました。特別期間を除く毎週土曜日の夕方、音楽ロビーでこのプログラムを体験することができます。

NO SIRO



フェナキスティスコープ

表が白、裏が黒の厚紙の円盤に、同じ間隔で細いすき間(スリット)が開いたものです。スリットとスリットの間に、少しずつ変化していく絵を描いて、絵があるほうを鏡に向けて、裏のスリットから鏡に写っている絵を見ます。円盤をクルクル回すと、絵が動いて見えます。



ゾートロープ

「フェナキスティスコープ」を円筒形にして、何人かの人たちで見ることができるようにしたものです。絵は細長いフィルムのような紙に描くので、入れ替えることもかんたんです。スリットから一瞬だけ絵が見え、すぐにかくされ、続いて次のスリットから次の絵が見え、かくされ、それが順番に続いて、絵が動いて見えるのです。映画のしくみの基本がここにありま。



みる・しる・つくる アニメーション・キット

〔こどもの城〕AV事業部では、10年間の映像遊びの集大成「みる・しる・つくる アニメーション・キット」を作りました。「動き」の秘密をさぐるビデオソフト(みる)、アニメーションのできるまでを解説した本(しる)、4つのアニメおもちゃが作れる紙工作(つくる)——の3つで1セットになっています。

一般販売価格は7,500円、「つくるキット」のみ1,500円。業務価格(図書館などでの貸し出し、児童健全育成施設や教育施設での無料上映権を含む)15,000円。〔こどもの城〕1階売店で発売中。内容についてのお問い合わせはAV事業部へ。

なお、通信販売も行っています。通信販売についてのお問い合わせ・お申し込みは「ノースウェットこどもの城ビデオ係」(TEL03-3716-6682)へ。



「楽しい」が、イチバン。

自立心も、好奇心も……。
楽しいからこそ身につくんですね。



お子さまを楽しい遊びの世界へ案内するマスコットの「しまじろう」、うさぎの「みみりん」といっしょに、子どもたちの人気者です。



Benesse Corporation

バラエティー豊かな「遊び体験」の宝箱、それが進研ゼミの「こどもちゃれんじ」。"しまじろう"をはじめ可愛いマスコットたちがCDやビデオの中から「いっしょにやろうよ!」と呼びかけたり、楽しくトライしたドリルの課題に「よくできたね!」と「あったか先生」のメッセージが直筆で返ってきたり……。お子さまが「楽しく」遊びながら生活習慣や学習意欲を身につけられる工夫がいっぱいです。また、3・4歳児には「くまのぼんぼ」、4・5歳児には「くすくすつぶ」、5・6歳児には「くまのぼんぼ」と、3つの講座でお子さまの発達段階にきめ細かく対応。お子さまの確かな成長とおうちの方の安心の子育てをしっかりと支援しています。

※提出課題は「くまのぼんぼ」と「くすくすつぶ」の一部月号で実施しています。

進研ゼミ「幼児講座」

こどもちゃれんじ

※こどもちゃれんじのお問い合わせは——株式会社ベネッセコーポレーション 進研ゼミこどもちゃれんじ 郵1020-426-330(月～土10:00～20:00 祝日を除く)

保育クラブの親子イベント

「あんこう」のつるし切りに親子で挑戦

【こどもの城】保育クラブの親子イベントが2月18日(日)に行われました。今までの親子イベントは、保育スタッフが企画して会員家族が参加する形でしたが、今回は企画段階から参加してもらいました。イベントの目的である、親・保育者・子ども、より多くの家族とのコミュニケーション作りをめざす、新しい試みです。

当日は、関東地方に大雪警報が出される悪天候。予定を大幅に変更して、午後から「あんこうのつるし切り」「親子当てゲーム」を行いました。雪がやんだこともあり、23組の親子が参加しました。「あんこうのつるし切り」【写真】では初めて見るあんこうのノックリ、ズッシリした姿に子どもは目まぐるしくおそるおそる指で突

ついてみたり、その指のにおいをかいてみたり、子どもたちは興奮を覚えました。脚立の間に渡されたパイプにあんこうをつるして、いよいよ包丁を入れます。お父さん、お母さんたちの歓声が上がる中、子どもたちはお父さんに手伝ってもらいながら、少しずつ包丁を入れていきました。

あんこう鍋ができる間に、スクリーンの中から出された手を見て自分の子どもを当てる「親子当てゲーム」。企画を担当した保護者が考えたもの。お父さんたちの緊張する姿、当たった後の満面の笑みを浮かべる姿は、ほほえましいものでした。

イベントを実施するに当たっては、保育クラブの父母の中から10人がプログラム企画段階から参加



3回のミーティングを重ねて、本番を迎えました。いろいろな親子が家族の枠を超えて参加できる内容にする、親がまず楽しむ(子どもが後からついてくる)、父親の感動が表れる(お父さんの強い要

望?) イベントにしよう、みんなで知恵を出し合ったプログラムが作られました。

つるし切りを担当した豊田徹朗さんは「7年ぶりのあんこうをさばきながら、長い間お世話になってきている先生方とたくさんお話ができたこと、今日まで何回か集まってイベントの進行を煮詰める話し合いの中で、保護者同士、特に父親同士がいろいろと情報交換できたことは、今後の子育て上、大きなステップとなった共同企画参加でした」と感想を寄せられました。

オランダ式のストリートオルガン「スペルフト」が音楽ロビーに登場

【こどもの城】の音楽ロビーにこのほどオランダ式のストリート・オルガンが登場しました。オランダの町の風景にはなくてはならない風物詩として親しまれている「手回しオルガン」で、大きなハンドルを回して演奏します。



愛称は「スペルフト・オルゲル」(Speelgoed Orgel=オランダ語でおもちゃのオルガン)。高さ約1.7m、幅約2m、奥行き65cmという大きさです。ブックと呼ばれるたくさんの穴の開いた厚紙を、オルガンが読み取って、パイプに風を送って演奏します。演奏できる曲目は「花」「我は海の子」「イエローサブマリン～ビートルズメドレー」「エンターテイナー」など。

時30分と3時30分の2回、音楽ロビーでうきうきする、かわいらしい音色を聞かせてくれます。

韓国の3都市で創造力を伸ばすプログラム等を指導

韓国青少年村の招待で、【こどもの城】テリー・スザン国際交流部長が1月に訪韓し、ソウル、デジョン、プサンの3都市で、幼



第33期の「こどもの城」青年ボランティア養成講習会が開かれ、二月十六日～十八日には、千葉県市川市少年自然の家で実技指導を中心に宿泊研修が行われました。



稚園・保育園・小学校の先生を対象に、表現力・創造力を伸ばすプログラムの指導を行いました。

各回とも約5時間。通訳入りの英語で行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。また、国立の教育大学にも招かれて講演したほか、福祉のホールで3～6歳の子どもたち80人とも1時間ほど手遊びや歌遊びを楽しむ機会もありました。子どもたちは、かわいらしい童謡を歌って、歓迎してくれました。

「言葉が通じなくても、顔の表情や目のひかりで、心のあたたかさを感じました。もしかしたら、今年の夏に、韓国で会った先生方が何人か日本に来ると聞いています。【こどもの城】のスタッフとレクリエーションダンスやゲームの交流会ができれば、お互いの国や子どもたちのためになるつながりができます。そこから国際交流の大切なステップが始まるのではないのでしょうか」とテリー国際交流部長。

こどもの城となかまたち

毎年好評の【こどもの城】の児童厚生員等実技指導講習会の平成8年度の日程(予定)が、決まりました。2日間の通いの講習を含めて、年3回実施を予定しています。概要は以下のとおり。会場は【こどもの城】。詳細は講習開催の2か月前ごろにお知らせします。

平成8年度 こどもの城児童厚生員等実技指導講習会 5月、10月、1月の年3回予定

●第1回
テーマ=つくってあそぶ人形劇(児童館でよく取り上げられる人形劇。手作りで作ることができるものとの紹介と、公演の実際について講習。2日間の通いで行います) / 日程=5月15日、22日

●第2回
テーマ=小・中学生のためのレクリエーションプログラム(活動量の多い小・中学生でも楽しめるレクリエーションプログラムの紹介と思春期を迎える子どもたちにとって魅力ある児童館のあり方を考えます) / 日程=10月2日(水)～4日(金)

●第3回
テーマ=幼児が参加する手作りのプログラム(幼児でも簡単に作れ、その場で遊べるプログラムの紹介) / 日程=1月21日(火)～23日(木)

この講習会についてのお問い合わせは【こどもの城】研修教養部【03-3797-5665】へ。

青山劇場

●音楽座ミュージカル「マドモアゼル・モーツァルト」
▷3月18日～24日▷S=8,000円/S=7,000円/A=6,000円/B=5,000円/C=3,000円▷出演=土居裕子/石富由美子ほか

●ピーターパン
▷3月28日～4月14日▷S=7,500円/A=6,000円/B=4,500円▷出演=沖本富美代・宮本裕子(Wキャスト)/川崎麻生/子高恵美ほか

青山円形劇場

●ザ・プラス・フォア35周年記念特別公演
▷4月19日・20日▷S=5,000円均一

●アニー
▷4月26日～5月19日▷S=7,500円/A=5,500円▷出演=岡田真澄/日向薫/永井秀明ほか

●ぼくらのサウンド'96
こどもの城音楽事業部の受講生による発表コンサート
▷3月24日～26日▷入場無料(当日配布の整理券が必要)▷出演=こどもの城音楽講座・クラブの受講生

●五線譜のなかの動物たち アンコール公演「モーツァルトの音楽遊園地 パパゲーノ」
▷3月29日～4月4日▷2,800円(全席自

●4月17日～21日▷3,800円(当日4,000円) 学生割引3,300円

●鶴瓶'96春
▷4月22日～26日▷3,090円

●チューピンゲン人形劇来日公演
▷4月28日・29日(13時ファミリー向けAプロ/19時一般向けBプロ)▷Aプロ2,800円/Bプロ3,000円

●子どもフェスティバル
ファミリー向けのゴールデンウィーク特別企画
▷5月3日～6日▷入場無料(当日配布の整理券が必要)▷3日=「愉快なコンサート」ロバの音楽座/4日=「くすくすわっはっは」円・子どもステージ/5日=「おんがくがスキ」おんがくがスキ/6日=「あれ?おや?げきじょう」人形劇団くづつ

■ご予約・お問い合わせは、青山劇場予約センター【03-3797-1400】へ。

●4月17日～21日▷3,800円(当日4,000円) 学生割引3,300円

●鶴瓶'96春
▷4月22日～26日▷3,090円

●チューピンゲン人形劇来日公演
▷4月28日・29日(13時ファミリー向けAプロ/19時一般向けBプロ)▷Aプロ2,800円/Bプロ3,000円

●子どもフェスティバル
ファミリー向けのゴールデンウィーク特別企画
▷5月3日～6日▷入場無料(当日配布の整理券が必要)▷3日=「愉快なコンサート」ロバの音楽座/4日=「くすくすわっはっは」円・子どもステージ/5日=「おんがくがスキ」おんがくがスキ/6日=「あれ?おや?げきじょう」人形劇団くづつ

■ご予約・お問い合わせは、青山劇場予約センター【03-3797-1400】へ。

友の会だより

ゴールデンウィークの青山劇場、青山円形劇場公演に会員をご招待

ゴールデンウィークの劇場公演に「こどもの城友の会」会員をご招待します。観覧ご希望の方は、下記の要領でお申し込みください。

【ご招待公演名・日時】
①青山円形劇場公演「チューピンゲン人形劇来日公演」
演技・造形・音楽の要素を取り入れたドイツの人形劇。4月28日(日)と29日(祝)の1時の回。8歳以上の親子ペア各2組。

②青山円形劇場公演「子どもフェスティバル」
5月3日=愉快なコンサート(ロバの音楽座)/4日=くすくすわっはっは(円・子どもステージ)/5日=おんがくがスキ(おんがくがスキ)/6日=あれ?おや?げきじょう(人形劇団くづつ)

各公演の11時と3時30分の2回(4日のみ3時30分の1回)に各100人。

③青山劇場公演「アニー」
5月9日(木)・10日(金)・13日(月)・14日(火)・16日(木)の5時の回に、小学生以上の親子ペア各1組。

【申し込み方法】
官製はがきに、観覧希望の公演名と公演日、会員代表者氏名、会員番号、住所、電話番号をご記入のうえ「こどもの城友の会」事務局〇〇〇(希望の公演名)係(〒150東京都渋谷区神宮前5-53-1)までお送りください。②の「子どもフェスティバル」観覧ご希望の場合には、希望人数を必ず明記してください。お申し込みは1家族1件とさせていただきます。

【締め切り】
平成8年3月31日(日)当日消印有効。当選された方へは郵便でご連絡いたします(4月10日発送予定)。

①と③の公演チケットは、青山劇場チケットボックスで絶賛発売中です。

▲予告
友の会ファミリーハイキングを5月26日(日)に開催する予定です。行き先等についての詳細は、次号(4月15日号)でお知らせいたします。

サントリーホール 10周年記念公演 「こどもの日」コンサート

子ども大人も楽しめる(60分コンサート)

1986-1996 10th ANNIVERSARY SUNTORY HALL

5/5(祝日)

指揮・おはなし▷沼尻竜典 ピアノ▷花房晴美/花房真美
司会・語り▷土居裕子 管弦楽▷新星日本交響楽団
構成▷海野洋司 主催▷サントリーホール 協力▷サントリーフーズ株式会社

●ストラヴィンスキー「サーカス・ポルカ」
●サン＝サーンス「動物の謝肉祭」
●ストラヴィンスキー「火の鳥」組曲(1919年版)

全席指定2,500円(消費税込み)
※お子様のご入場は4歳以上とさせていただきます。
サントリーホール・チケットセンター 03-3584-9999

第50回記念「児童福祉週間」標語

こどもの眼 こどもの心 見てますか?

5月5日からの1週間は「児童福祉週間」。児童福祉の向上を図るため、毎年さまざまな活動が展開されています。第50回目という大きな節目の「児童福祉週間」の標語は、1万2千点を超える応募の中から、滋賀県高月町の橋本あけみさんの標語が選ばれました。

April. 1996 4・29(月・祝) まるごと ジョン・ウィリアムズ

新日本フィル子供の日コンサートvol.6
ロスオリンピック・ファンファーレ「11人のカウボーイ」序曲「サブリナ」よりテーマ「スター・ウォーズ」(3部作)より「スター・ウォーズ」から「サブリナ」まで

●第1部
●第2部

映画音楽特集

料金:一般 S.5,000 A.3,000(税込み)
*2歳未満 3歳以上お買い上げの方は定価の2割引となります。
*入場制限 5才以上入場可(託児サービスあり・1才以下小学生2年生まで)

主催:新日本フィルハーモニー交響楽団